

## 食品安全委員会評価技術企画ワーキンググループ（第31回）議事次第

### 1. 日時及び場所

令和5年8月3日（木）10:00～12:00

食品安全委員会 中会議室（Web 会議システムを併用）

### 2. 出席専門委員（敬称略、五十音順）

#### （1）出席専門委員（9名）

赤堀 有美	猪飼 宏	川村 孝
澤田 典絵	寒水 孝司	祖父江 友孝
竹内 昌平	松本 真理子	山田 隆志

#### （2）欠席専門委員（2名）

小坂 健	西浦 博
------	------

#### （3）出席専門参考人（1名）

広瀬 明彦

### 3. 議事

（1）疫学研究で得られた用量反応データへのベンチマークドーズ法の適用について

（2）その他

### 4. 配布資料

資料1 食品健康影響評価におけるベンチマークドーズ法の活用に関する指針の一部改正案

参考資料1 食品健康影響評価におけるベンチマークドーズ法の活用に関する指針〔動物試験で得られた用量反応データへの適用〕  
（2019年10月食品安全委員会決定）

参考資料2 新たな時代に対応した評価技術の検討～BMD法の更なる活用に向けて～（2018年7月食品安全委員会評価技術企画ワーキンググループ）

参考資料3 Guidance on the use of the Benchmark Dose approach in risk assessment (EFSA)

- 参考資料 4 Benchmark Dose Technical Guidance (U.S. EPA, 2012)
- 参考資料 5 Environmental Health Criteria 240 (EHC 240) PRINCIPLES AND METHODS FOR THE RISK ASSESSMENT OF CHEMICALS IN FOOD chapter5 Dose Response Assessment and Derivation of Health Based Guidance Values
- 参考資料 6 化学物質・汚染物質評価書 食品中のヒ素（2013年12月食品安全委員会決定）
- 参考資料 7 疫学研究で得られた用量反応データへのBMD法の適用に関する調査報告書
- 参考資料 8 平成30～令和元年度食品健康影響評価技術研究「課題名：ベンチマークドース手法の健康影響評価における適用条件の検討（課題番号：1804）」研究成果報告書

以上